

する が たけせんすじざい く
駿河竹千筋細工
Suruga Bamboo
Lattice Ware

- *おもな製品**
盆、うつわ（花器・盛器・菓子器）受皿、電気スタンド、虫かごなど。
- *製品の特長**
細く割った竹を丸く加工した「ひご」を、曲げたり、つなぎ合わせたり、組んだりしてつくります。
- *つくりかた**
 - ①竹を切ったり、割ったり、削ったりして材料をつくる。
 - ②「ひご」をつくる。
 - ③材料を曲げて「輪」をつくる。
 - ④「輪」に穴をあける。
 - ⑤「輪」に「ひご」を通して組み立てる。

- *おもな材料**
竹：苦竹（まだけ）、孟宗竹（もうそうちく）
- *おもに使う道具**
のこぎり、なた、せん台（竹を削って厚みをそろえるもの）、胴乱（竹を曲げるこて）、ボール盤（輪に穴をあける機械）など。

***最もむずかしいところ**
竹の「輪」のつなぎめがわからないようにすること、「ひご」をきれいに曲げることです。

***静岡でできるわけ**
静岡は気候が温暖で、良い竹がたくさんとれます。また、昔は「かさ」や「鳥かご」、「虫かご」などをつくっていましたが、最近では、「花器」や「電気スタンド」などいろいろな種類の生活道具をつくっています。駿河竹千筋細工は伝統的工芸品として国で認められています。

ことば（業界の専門用語）
「へぎ」……竹を薄く裂くことです。
「くじき」……切り込みの入った竹を細かく割ることです。
「せんかけ」……竹を削って厚さをそろえることです。

県内事業所数	13所（平成19年）
県内年間出荷額	160百万円（平成19年）

資料：静岡県経済産業部商工業局（平成20年度調べ）

***組合** 静岡竹工芸協同組合
静岡市葵区五番町3-11 電話(054)252-4924



⑨組み立て（輪にあけた穴に「ひご」を通して組み立てます。）



⑧穴あけ（輪に「ひご」を通す穴をあけます。）



⑦曲げ（熱した「こて」を使い「ひご」や材料を曲げます。）



①材料作り（竹を必要な長さに切ります。）



②材料作り（竹の皮は削り、「なた」で必要な寸法に割ります。）



④ひご作り（厚さをそろえた竹に切り込みを入れて割り、先を細く削ります。）



③厚み決め（「せん台」を使い小割した竹の厚さをそろえます。）



⑤ひご作り（細かく割った竹を鉄板の穴に通して丸い「ひご」をつくります。）



⑥輪作り（熱した胴乱に竹を巻きつけて「輪」をつくります。）

